



安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2025/07/30 改訂日: 2026/02/09 バージョン: 4.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : NCM0195
Part Number(s) : 700004618|NCM0195A|700004619|NCM0195B|700004620|NCM0195C|700004621|NCM0195D|NCM0195

会社情報

製造業者

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Leshler Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい 3-3-3 横浜コネクトスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号

: 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過氧化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	区分に該当しない

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分 2
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 警告

危険有害性 (GHS JP)

: 発がんのおそれの疑い (H351)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
(P308+P313)

保管

: 施錠して保管すること。(P405)

廃棄

: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Carbon black	≥ 1 - < 5	-	-	1333-86-4
Sodium deoxycholate	≥ 1 - < 5	-	-	302-95-4
Sodium pyruvate	≥ 0.5 - < 1	(9)-1079	既存化学物質	113-24-6

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること（第8項を参照）。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。 粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
-------	--

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います。

浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
使用前に取扱説明書入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

保管温度 : 2 - 30 °C

8. ばく露防止及び保護措置

Carbon black (1333-86-4)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	第 2 種粉塵 (結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵, カーボンブラック) # Dusts Class 2 (Dusts containing less than 3% crystalline silica, Lampblack)
許容濃度	1 mg/m ³ 吸入性粉塵 4 mg/m ³ 総粉塵
規則参照	JCDB の調査による
日本 - ばく露限界値 (厚生労働大臣が定める濃度の基準)	
現地名	カーボンブラック
8 時間濃度基準値	0.3 mg/m ³ レスピラブル粒子として
規則参照	労働安全衛生規則第 577 条の 2 第 2 項 (令和 7 年 10 月 1 日適用物質)

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 粉末
色	: 黒色
臭い	: 特異臭
pH	: 7.2 – 7.6
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 区分に該当しない (粉じん、ミスト)

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の 65.96%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の 97.87%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の 97.87%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Carbon black (1333-86-4)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、> 8,000 mg/kg、> 10,000 mg/kg (2 件) (SIDS (2007)) に基づき、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。なお、ウサギの LD50 値として、> 3,000 mg/kg (RTECS (Access on August 2015)、GESTIS (Access on August 2015)) との報告があるが、List 3 の情報であり、原著による確認ができなかったため、分類には採用しなかった。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	> 10000 mg/kg (Equivalent or similar to OECD 401, Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 28 day(s))
LD50 経口	8000 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 8000 mg/kg Source: ECHA
LC50 吸入 - ラット	> 4.6 mg/m ³
Sodium deoxycholate (302-95-4)	
LD50 経口 ラット	1370 mg/kg (Rat, Oral)
Sodium pyruvate (113-24-6)	
LD50 経口	3533 mg/kg BW (Mouse, Experimental value, Oral)
LD50 経皮 ラット	> 3000 mg/kg BW (Rat, Male, Experimental value, Intraperitoneal)
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)	
pH	7.2 – 7.6
Carbon black (1333-86-4)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験 (OECD TG404) において、本物質 500 mg を 4 時間、閉塞適用した結果、刺激性はみられなかったとの報告がある (SIDS (2007))。また、ウサギを用いた別の皮膚刺激性試験においても、本物質 (20～27%) を適用した結果刺激性はみられなかったとの報告がある (SIDS (2007))。以上より、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)	
pH	7.2 – 7.6

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Carbon black (1333-86-4)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性

ウサギを用いた眼刺激性試験 (OECD TG 405) が 3 報あり、いずれも本物質 (原液) 適用による刺激性はみられなかったとの報告がある (SIDS (2007))。以上より、区分外とした。

呼吸器感作性 : 分類できない

Carbon black (1333-86-4)

呼吸器感作性

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない

Carbon black (1333-86-4)

皮膚感作性

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Carbon black (1333-86-4)

生殖細胞変異原性

In vivo では、吸入ばく露及び気道内注入によるラットの肺胞細胞を用いた遺伝子突然変異 (hprt) 試験で陽性、吸入ばく露によるラットの肺を用いた DNA 付加体形成試験で陽性、陰性の結果があるが、その陽性結果は、本物質に含まれた芳香族多環炭化水素類あるいは炎症にともなう活性酸素種の発生による可能性が指摘されており、カーボンブラック自体の変異原性を示唆するものとは考えられていない (IARC 93 (2010)、DFGOT vol. 18 (2002)、SIDS (2007))。In vitro では、細菌の復帰突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、マウスリンフォーマ試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である (IARC 93 (2010)、SIDS (2007)、DFGOT vol. 18 (2002))。以上より、本物質自体に変異原性はないものと考えられ、ガイダンスに従い分類できないとした。

発がん性 : 発がんのおそれの疑い

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Carbon black (1333-86-4)

発がん性

ヒトでは主に英国、ドイツ、及び米国でのコホート研究、コホート内症例対照研究から、本物質への職業ばく露と肺がん死亡の過剰リスクとの関連性を示唆する報告もあったが、喫煙の影響の可能性を排除できない、或いはアスベスト、タルクへの共ばく露の影響を補正した結果では、肺がん死亡の過剰リスクの有意差が消失したなど、両者の相関を支持する結果は得られなかった (IARC 93 (2010)、ACGIH (7th, 2011))。その他、膀胱、腎臓、胃、及び食道の発がんに対して、過剰リスクを示唆する報告があるが、いずれも本物質がヒトで発がん性を支持する証拠としては不十分であると記述されている (IARC 93 (2010))。一方、実験動物では Printex 90 (主粒子径: 14 nm、比表面積: 227 ± 18.8 m²/g、空気力学的質量中央値 (MMAD): 0.64 μm) を雌マウスに 13.5 ヶ月間、及び雌ラットに 43 週間、又は 86 週間、又は雌ラットに 24 ヶ月間、吸入ばく露した各試験で、肺胞/細気管支腺腫、腺がん、扁平上皮がんなど肺の良性/悪性腫瘍の頻度増加が認められた (IARC 93 (2010)、SIDS (2007))。また、Elftex 12 (総粒子の 67% が大型粒子 (粒子径: 2.0~2.4 μm; MMAD: 2.0 μm)、33% が小型粒子 (粒子径: 0.02~0.1 μm)) を雌雄ラットに 2 年間吸入ばく露した試験では、雄には肺腫瘍の頻度の増加は示されなかったが、雌に肺の腺腫及び腺がんの発生頻度の増加が用量依存的に認められた (IARC 93 (2010)、SIDS (2007))。この他、これら 2 種の本物質製品を雌ラットに気管内投与した試験でも、肺腫瘍の増加が確認されている (IARC 93 (2010)、SIDS (2007))。以上のヒト疫学知見及び動物試験結果より、IARC はグループ 2B に (IARC 93 (2010))、ACGIH は A3 に (ACGIH (7th, 2011)) 分類している。よって、本項は区分 2 とした。

IARC グループ

ヒトに対して発がん性が疑われる

生殖毒性

: 分類できない

Carbon black (1333-86-4)

生殖毒性

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 分類できない

Carbon black (1333-86-4)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 分類できない

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Carbon black (1333-86-4)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトでは本物質製造工場、本物質への反復吸入ばく露により、肺機能の低下、呼吸器症状の発生頻度増加、胸部 X 線写真での異常所見がみられるものと推定されたが、欧州 7 ヶ国、19 施設を含む大規模疫学研究の結果では、1.0 mg/m ³ (吸入性粉じん、8 時間 TWA) の濃度で 40 年間ばく露後の予測値として、肺機能パラメータの軽度の低下が示唆されただけであった (SIDS (2007)、ACGIH (7th, 2011))。すなわち、1、2、3.5 mg/m ³ (8 時間 TWA 値) で、40 年間吸入ばく露後に、FEV ₁ (1 秒量) の値が平均で各々 49、91、及び 169 mL 減少すると推測されたが、成人男性が 40 年間に加齢により、FEV ₁ が平均 1,200 mL 低下することと比べ、ごく僅かな変化であるとされた (SIDS (2007))。また、北米の製造工場での研究結果でも、1 mg/m ³ に 40 年間のばく露により、FEV ₁ が 28 mL 減少したという同様の呼吸機能低下が示された (SIDS (2007)) が、欧州、北米の結果ともに指標としての FEV ₁ 値の低下は、FEV ₁ 値の正常値の 95%信頼区間の範囲内での低下であるとされている (ACGIH (7th, 2011))。実験動物では、本物質を雄ラットに 13 週間吸入ばく露 (6 時間/日、5 日/週) した試験では、7.1 mg/m ³ (ガイダンス値換算: 0.0051 mg/L/6 hr) 以上で、肺胞上皮の炎症、過形成、及び線維化がみられ、肺による粉塵クリアランス速度の低下も認められ、NOAEL は 1.0 mg/m ³ であった (SIDS (2007))。また、雌雄ラットに 2 年間吸入ばく露 (16 時間/日、5 日/週) した試験では、2.5 mg/m ³ (ガイダンス値換算: 0.0046 mg/L/6 hr) 以上で、肺に同様に肺胞上皮の炎症、扁平上皮化生、過形成、慢性活動性炎症がみられている (SIDS (2007))。なお、雌のラット、マウス、及びハムスターに同一濃度で 13 週間吸入ばく露した結果、肺の炎症性組織変化はラットでは 7 mg/m ³ 以上で明瞭で、所見の強さはマウス、ハムスターよりも強く、一方、肺からのクリアランス速度はハムスターが最も速かったとの報告があり (ACGIH (7th, 2011))、呼吸器系への有害影響、肺からのクリアランスには種差が示唆された。この他、マウスの 41 週間経皮投与、及びラット、マウスを用いた 2 年間混餌投与試験では有害性影響は認められなかった (SIDS (2007))。以上、本物質は吸入経路において、ヒトでは僅かな呼吸機能低下が示唆されているに過ぎないが、実験動物では区分 1 の用量範囲内で、肺に顕著な組織変化が示されたことから、区分 1 (呼吸器) に分類した。
LOAEC (吸入、ラット、粉じん/ミスト/煙、90 日)	0.0071 mg/l air Animal: rat, Animal sex: male
NOAEL (経口、ラット、90 日)	> 1000 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents)
NOAEC (吸入、ラット、粉じん/ミスト/煙、90 日)	0.0011 mg/l air Animal: rat, Animal sex: male

誤えん有害性 : 分類できない

Carbon black (1333-86-4)	
誤えん有害性	デ-タ不足のため分類できない。
動粘性率	Not applicable (solid)
Sodium deoxycholate (302-95-4)	
動粘性率	Not applicable (solid)
Sodium pyruvate (113-24-6)	
動粘性率	Not applicable (solid)

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

12. 環境影響情報

生態毒性

- 生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
- 水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない
- 水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない

Carbon black (1333-86-4)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (セネデスマス) 72 時間 EC50 > 10000 mg/L、甲殻類 (オオミジンコ) 24 時間 EC50 > 5600 mg/L、魚類 (ウグイ) 96 時間 LC50 > 1000 mg/L (いずれも SIDS, 2007) であり、本物質の水溶解度 (不溶 (HSDB, 2009)) において当該毒性を示さないことが示唆されるため、区分外とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	難水溶性で水溶解度までの濃度で急性毒性が報告されておらず、水中での挙動および生物蓄積性も不明であるため、分類できない。
LC50 - 魚 [1]	> 1000 mg/l (OECD 203: Fish, Acute Toxicity Test, 96 h, Danio rerio, Static system, Fresh water, Experimental value, Lethal)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 5600 mg/l (OECD 202: Daphnia sp. Acute Immobilisation Test, 24 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, Locomotor effect)
ErC50 藻類	> 10000 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Desmodesmus subspicatus, Static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
Sodium deoxycholate (302-95-4)	
LC50 - 魚 [1]	1592.185 mg/l Source: ECOSAR
EC50 96h - 藻類 [1]	968.709 mg/l Source: ECOSAR
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.24 (Estimated value)
Sodium pyruvate (113-24-6)	
LC50 - 魚 [1]	> 100 mg/l (96 h, Pisces, QSAR, Nominal concentration)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 100 mg/l (OECD 202: Daphnia sp. Acute Immobilisation Test, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
EC50 72h - 藻類 [1]	2.78 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
EC50 96h - 藻類 [1]	94800000 mg/l Source: ECOSAR
ErC50 藻類	> 3 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
NOEC (慢性)	3.95 mg/l Test organisms (species): Duration: '28 d'
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.8 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)

残留性・分解性

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)	
残留性・分解性	急速分解性でない

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Carbon black (1333-86-4)	
残留性・分解性	Biodegradability in soil: not applicable, Biodegradability: not applicable。
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)
ThOD	Not applicable (inorganic)
Sodium deoxycholate (302-95-4)	
残留性・分解性	Biodegradability in water: no data available。
Sodium pyruvate (113-24-6)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water。

生体蓄積性

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)	
生体蓄積性	データなし
Carbon black (1333-86-4)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
Sodium deoxycholate (302-95-4)	
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4)。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.24 (Estimated value)
Sodium pyruvate (113-24-6)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.8 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)

土壌中の移動性

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)	
土壌中の移動性	データなし
Carbon black (1333-86-4)	
表面張力	Not applicable (solid)
生態系 - 土壌	No (test)data on mobility of the substance available。 Not toxic to plants。 Not toxic to animals。
Sodium deoxycholate (302-95-4)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.24 (Estimated value)
生態系 - 土壌	No (test)data on mobility of the substance available。
Sodium pyruvate (113-24-6)	
表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.8 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)
生態系 - 土壌	No (test)data on mobility of the substance available。

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

残余廃棄物 : 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。
廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDG に準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 3 0 条別表第 2）

安全データシート

Campylobacter Blood-Free Selective Medium (Modified CCDA)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

【改正後 令和8年4月1日以降】

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）

カーボンブラック（別表の番号：403）

【改正後 令和8年4月1日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）

カーボンブラック（別表の番号：403）

濃度基準値設定物質（安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号）

水質汚濁防止法

： 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）

水道法

： 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）

下水道法

： 水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）

労働基準法

： がん原性化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号）

じん肺法

： 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。